



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「大久保家の献身」

敬愛するわれらが久保ジョージ兄がこの八月十八日に天のみ国に凱旋された。享年八十四歳であった。心臓の弱さのゆえに最後の四半世紀は病との闘いであつたが、オレンジ郡教会の設立と発展のために、彼と彼の家族ほど犠牲的な働きをしてくれた人たちはいない。二十八日の葬儀は、週日の午後三時にもかかわらず、その彼の遺徳を偲ぶ人たちが礼拝堂はいっぱいになった。

とにかくジョージ兄はユーモアの人だった。日曜日に彼が会堂に入つて来る時、母の小野静江を見ると隠れるようにして彼女の後ろに回り、肩にちよこつと触つて、顔を横に向けて知らんぷりをしていた。母が振り向いて「ジョージさん、今、私の肩に触つたのはあなたでしよう」と言つては、二人で良く大声で笑つていたものだった。そのように彼はいつも回りに笑いをもたらす人だった。私にも新聞や雑誌の切れ端を手渡しては、「先生、これ読んでごらん」と言つてはニコツとするのだった。それにはジョークが書かれていた。多くの場合、手の込んだ内容のものばかりですぐには笑えない高度なものだったが、後でじっくり読んでやつと分かるものが多かった。そんな彼のくつたくのない笑顔がいつも僕の牧会者としての張り詰めた心を緩やかにしてくれたものだった。

彼はまた祈りの人だった。長い闘病にあつた家内、節子の看護に疲れていた僕に「いつも祈つているよ」と言つては励ましてくれた。牧会上においても、彼は英語部と日本語部の橋渡しのようになって様々な適切な意見を言つてくれた。初めから教会の全体像をしっかりと見て、絶えず祈つていたからなのである。

ジョージ兄は教会の創立時から、サンデー・スクールの子供たちの全体集会で賛美指導をし、お話をし、クラスをもつてくれた。ガレッジセールでは大きなトラックを会社から借りてきては率先して奉仕をしてくれた。そして何よりも教会設立時からトレーラー・ハウス建設時まで、そして新会堂建設前も、ご自分の家を礼拝のために開放してくれた。そのためにはどんなに多くの準備と犠牲とが払われたことであろうか。でも、一言も文句を言わずに使わせてくれた。実に今日のオレンジ郡教会は彼と彼の家族の献身の上になり立っている。

ヘブル書に「彼(アベル)は死んだが、信仰によって今もなお語っている(十一・4)とある。アベルは神に喜ばれるものが何であるかを知つて最善のいけにえを捧げた人物であつたが、ジョージ兄も何が主に喜ばれるのかを知つていた。それは献身という捧げ物であつた。それが今の教会を支えている。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在では日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

